

# 日本鉄鋼協会記事

## 編集委員会

**第2回編集運営委員会** 開催日：5月9日。出席者：田中委員長，ほか10名。

1. 論文賞選考の方法について意見が出された。
2. 第100回講演大会行事についての意見が出された。
3. 講演大会講演概要の英訳についての報告がなされ承認された。

**第2回和文会誌分科会** 開催日：5月11日。出席者：田中主査，ほか14名。

1. 15件の論文審査報告がなされ，掲載決定12件，照会后掲載可2件，その他1件であった。
2. 「鉄と鋼」第65年第10号（9月号）に論文14件，技術資料1件，掲載決定した。

**第3回欧文会誌分科会** 開催日：5月15日。出席者：中村幹事，ほか8名。

1. 6件の論文につき審査報告がなされ，掲載可2件，照会后掲載可2件，修正依頼1件，一旦返却1件であった。
2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より4件の研究論文を勧誘することとなった。

## 試験高炉委員会

**第32回委員会** 開催日：5月4日。出席者：中村委員長，ほか14名。

1. 場所  
日本鉄鋼協会会議室
2. 議事内容
  - (1) 53年度研究成果の報告：東大・生研・館委員「成型コークスの熱間性状に関する基礎研究」
  - (2) 54年度試験高炉委員会の計画  
“東大・1T試験高炉第28次操業”に関する操業計画の審議
  - (3) その他

## 日本圧力容器研究会

**第7回低温材料専門委員会** 開催日：4月13日。出席者：二上委員長，ほか16名。

T/Gで立案した今後の部会運営を幹事が説明し全委員の承認が得られた。具体的な今後の進め方は以下の通りである。

1. CR材の圧力容器への適用  
現状でのCR材の一般的材質レベルとCR材の破壊特性の2項目について，原則として公表されている資料を用いて概念的なまとめを行い5月のPVRC MeetingでConsensusが得られた形で報告を行う。
2. 現在問題となっている具体的項目の解決現状 最もまとまっている「9%Ni鋼の極厚成分系，PWHTの冷却速度の規定」に関する項目をCase studyとして先

行着手し，第1ステップとして5月PVRC MeetingにProposalと言う形で発表する。

## 鉄鋼基礎共同研究会

### 第18回特殊精錬部会

**第6分科会** 開催日：4月20，21日。出席者：成田主査，ほか9名。

未完となっている特殊精錬文献集第2集，ESR溶製材材質データ集についての最後の詰めを行い作業分担及びスケジュールを次のように決めた。

#### 1. 特殊精錬文献集第2集

収録件数は欧文323件，和文109件，計432件とし未分類文献リスト，1978年文献リストなどは，新日鉄が担当し整理する。発刊予定は5月末とする。

#### 2. ESR溶製材材質特性データ集

英文データ誌とし書名をData Book on Mechanical Properties of Electro-Slag Remelted Materialsとする。

スケジュールは

トレース図面，著作権関連資料の整理	5月20日
最終原稿の完成	5月末
著作権依頼	6月末
印刷，発行	7月末

## 微量元素の偏析部会

**第13回部会** 開催日：4月3日。出席者：須藤部会長，ほか19名。

1. 部会長から最終報告書「粒界の偏析と鋼の諸性質」についての報告があり，本で行われる研究発表会と4月5日に行われる鉄鋼協会春季大会シンポジウム「粒界の偏析と鋼の諸性質」（本部会共催）を最後に，本部会は全ての活動を終り，散会したいとの発言があり，了承された。

#### 2. 研究発表（3件）

- (1) 鉄その他純金属の粒界脆性。
- (2) FIMによる偏析の直接観察。
- (3) マルエージ鋼と不純物。

#### 3. 本部会解散について

部会長より各委員の本部会の活動，協力に対して謝辞が述べられ，部会解散した。

## 鉄鋼の応力腐食割れ部会

**第18回部会** 開催日：4月3日。出席者：春山副会長，ほか20名。

1. 開催場所 経団連会館 1105号室

2. 議事概要

#### 2.1 研究発表

- (1) MgCl<sub>2</sub> 溶液中における304ステンレス鋼のSCCき裂伝播と見かけの活性化エネルギー，応力状態お

- よび粒内、粒界割れモードの関係
- (2) スポットおよびTIG溶接試験片による NaCl 水溶液中のステンレス鋼の隙間腐食
  - (3) オーステナイト・ステンレス鋼の応力腐食割れに関する文献集
  - (4) Effect of cyclic rate on corrosion fatigue and fractography of type 304 stainless steel in boiling 42% Magnesium-Chloride solution
- 2.2 その他  
各委員へのアンケート結果をもとに最終報告書の目次素案を作り、その構成について検討した。
- .....

### 高温変形部会

第9回部会 開催日：4月19日。出席者：田村部会長、ほか 28 名。

1. 講演
  - (1) 高温変形の塑性力学(続) (東工大精研)
  - (2) 18-8ステンレス鋼および 18Ni マルエージ鋼の動的再結晶によるオーステナイト結晶粒微細化と強化について (京大)
  - (3) 18Cr-8Ni ステンレス鋼の熱間変形能と動的再結晶 (日鋼)
  - (4) 耐熱合金の高温における延性について (川重)
  - (5) SUS 309 ステンレス鋼の熱間加工性 (大同)
2. 協議事項
  - (1) 54年度もシンポジウムを開催したい。テーマとしては、①変形抵抗、延性②熱間加工性、脆性③二層域圧延などを候補として考えたい。
  - (2) 文部省科学技術研究費総合Aを申請中だが認められる可能性が大きい。

## 「鉄と鋼」特集号原稿募集案内

テーマ：鋼材の表面処理

原稿締切日：昭和 54 年 10 月 19 日 (金)

近年、鋼材の表面処理技術の発展にはめざましいものがあり、それらの品質、経済性に対する要求の高まりに対応して、新製品の開発や学術的掘り下げが活発に行われております。そこで、これまでの進歩のあとを確かめるとともに将来の鉄鋼技術の発展に資するために、今回は標記テーマによる特集号を企画いたしました。

内容は、鋼板および鋼管の表面処理技術ならびに製品に関するもので、めつき、化成処理、有機被覆、潤滑被覆や酸洗、クリーニングなどの前処理技術など、防食のみならず加工に際しての潤滑性向上やそれらの利用技術など鉄鋼材料の付加価値を高める技術を広角の視野でとらえようとするものであります。

つきましては、これらの内容に関する論文あるいは技術報告を多数ご投稿下さいますようご案内申し上げます。

記

1. テーマ 鋼材の表面処理
  2. 原稿締切日 昭和 54 年 10 月 19 日 (金)
  3. 発行 鉄と鋼. 第 66 年 7 号(昭和55年 6 月号)
  4. 原稿枚数 表, 図, 写真を含めて所定の原稿用紙
    - 1) 論文 50 枚以内 (刷上り 10 ページ以内)
    - 2) 技術報告 35 枚以内 (刷上り 7 ページ以内)
    - 3) 原稿は本会投稿規定に基づいて執筆下さい。
    - 4) 投稿された論文は編集委員会において審査されます。
  5. 問合せ送付先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F  
(社)日本鉄鋼協会編集課特集号係 電話 03-279-6021
- (注) 投稿時原稿表紙に「鋼材の表面処理特集号」と朱書して下さい。